

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(1)	開設より入居者の高齢化、重度化が進み、現状を踏まえた理念の見直しを行なう必要性がある。	職員で見直しの話し合いができ新たな理念を念頭に入れて業務遂行できる。	①職員に現在の理念について再確認してもらう ②現状を考えて理念変更が必要か検討する ③必要な場合は、皆で意見を出してもらう ④今後の理念になる様、意見をまとめる ⑤年度末に再度確認する	12ヶ月
2	36(14)	居室空間の飾り物や置物が長期にて損傷や汚れも見られる。また、照明がやや暗い印象がある。	生活空間の飾り物や置物が整理でき、また照明の明るさ調整ができ、安心できる空間になる。	①飾り物、置物で破損や汚れてきている物の撤去を行なう ②今後の飾りつけや置物の調整をどの様にしていくか話し合いを行なう ③季節時に見直しを行っていく	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。